

歴代の主な
日本銀行券

歴史上の偉人がたくさん登場

過去の日本銀行券では表面に政治家、作家、学者などの人物、裏面には富士山、日本銀行、国会議事堂などが描かれています。

● E一万円券



発行開始日：
平成16 (2004) 年11月1日
図柄：福沢諭吉、鳳凰像

● E五千円券



発行開始日：
平成16 (2004) 年11月1日
図柄：樋口一葉、燕子花図

● E千円券



発行開始日：
平成16 (2004) 年11月1日
図柄：野口英世、富士山、桜

● A一円券



発行開始日：
昭和21 (1946) 年3月19日
図柄：二宮尊徳

● C千円券



発行開始日：
昭和38 (1963) 年11月1日
図柄：伊藤博文、日本銀行

● D二千円券



発行開始日：
平成12 (2000) 年7月19日
図柄：守礼門、源氏物語

● B百円券



発行開始日：
昭和28 (1953) 年12月1日
図柄：板垣退助、国会議事堂

● C一万円券



発行開始日：
昭和33 (1958) 年12月1日
図柄：聖徳太子、彩紋

● D五千円券



発行開始日：
昭和59 (1984) 年11月1日
図柄：新渡戸稲造、富士山

● B五百円券



発行開始日：
昭和26 (1951) 年4月2日
図柄：若倉具規、富士山

● D千円券



発行開始日：
昭和59 (1984) 年11月1日
図柄：夏目漱石、鶴

● D一万円券



発行開始日：
昭和59 (1984) 年11月1日
図柄：福沢諭吉、きじ

新札には偽札防止の守護神 「ホログラム」を採用

新札のホログラムは、3Dで表現された肖像が回転する最先端技術。一万円券、五千円券はストライプタイプ、千円券はパッチタイプを採用。銀行券に使われるのは世界初です。

お札と硬貨は作る場所が違う

お札は国立印刷局、硬貨は造幣局で作られます。お札の発行は日本銀行、硬貨は政府が発行します。財務省が計画を立てて、発行する量を決めています。

「A〇円券」など名前がついている

明治18年に第1号のお札(旧拾円券)を発行してから、たくさんの種類のお札を区別・整理するために、お札のシリーズごとに記号をつけています。

明治中期頃～昭和10年頃：甲、乙、丙、丁
日中戦争～終戦前頃：い、ろ、は
戦後(昭和21年以降)～：A、B、C、D、E

お札の発行予定枚数

券種	枚数(百万枚)	金額(億円)
一万円	1,880	188,000
五千円	190	9,500
千円	960	9,600

令和5年度(2023年度)のお札の発行予定枚数は、枚数・金額ともに一万円が最も多く、枚数で全体の6割、金額では全体の9割となっています。